

桜萩会だより

第3号

宮崎県立小林中学校
小林高等女学校
小林高等学校
関東地区同窓会
編集兼発行人
森山誠一
陽光印刷内事務局
104 中央区八丁堀
3-11-13石渡方
昼 03(553)9707
夜 03(615)1795

昭和59年1月1日発行

丸岡氏叙勲さる
旧中第一回卒の丸岡真幸氏は勲四等瑞宝章を宮中にて天皇陛下より授与されました。

謹賀新年

新年おめでとうございます。心から皆さんの御健康を祈ります。

会長

あけましておめでとう
(田中二回)



新年おめでとございます。心から皆さんの御健康を祈ります。昨年、関東地区同窓会の日には、あいに旅行中でお出出来なくて、残念でしたが、今年是非出席し、会員の皆さんにお目にかかりたいと思っております。皆さんも何卒奮って御出席下さい。

昨年縁があつて宮崎県には「も」も出かけましたが、小林に行ったのは十一月に一回だけでした。その日はいわゆる日本晴れの良い天気、高千穂峰をはじめ、山々がたいへん綺麗でした。昔、あの山々を仰ぎながら育つていった若い日の思い出がいろいろとつきなかつたことを思い出します。しかしこんな思い出は老人の悪いくせで、もうやめましょう。

年末に衆議院の選挙も済みましたが



桜萩会の回顧と展望

幹事長 森山誠一 (田中十五回)

明けましておめでとございます。新しい年を、新たな希望と決意をもって迎えられることを拝察申し上げます。今年も良い年で、あられんことを心から祈念致します。

桜萩会も九年目に入りますが、今までは基礎固めの時期でした。皆様方のご理解とご協力により、これからは内容充実に取り組みしなければならぬと考えております。その第一の目標は、千名を越す関東在住者のうち、現在約二百八十名しか反応を得ていませんが、これを最低五百名にしたいことです。第二の目標は、篤志寄金やボランティアに依存する現状から脱却し、自己賄い出来る体質にすること。第三の目標は、この「桜萩会だより」を充実することです。

第八回 桜萩会祭り スナツプ



森山誠一氏

皆んなで肩を組んで歌をうたいました

「桜萩祭り」だけです。もっと、身近かなことでお役に立つようなことをやろうという意見も多いのですが、まだ何も出来ていません。これからは、小さなことから着手したいものです。が、とも角、桜萩祭りをもう少し盛大にしなければいけないと思っております。この前が二名で、その前(五七年)が二名で、さらに一割増です。実は、予想より遙かに多かったのです。世話役一同小躍りして喜んだのです。千通の案内状から見ると、四割でしかないのです。せめて「百名は来て欲しい」と望んでいるのですが、まだまだ私共の努力不足と反省させられるばかりです。ただ、お世話下さる方々も、忙しい仕事の合間を縫ってのボランティア活動ですので、一杯の働きをしております。その点何卒ご理解戴きたいです。勿論同窓会は、みんなが主役です。会員はお客様ではないのです。全員が世話役となり、みんな盛り上げてゆくべきものと信じています。「あれは面白くなくてね」という声もあり、謙虚に耳を傾けています。

栄冠第二十五回 日本学生科学賞受賞

生物部

小林高等学校

教諭 永井 彪



小林高校生物部機関紙「やまね」も昭和三年創刊号を出して以来、十三号をかぞえるようになりました。途中「やまね」の名前のように冬眠したときもあつたようですが、現在では順調に号を重ねています。特に、十号から「やまね」では、九州南部地区動物方言調査の研究成果をまとめたものです。最近、テレビ・ラジオ・新聞等の著し「普及に伴ない、生物の呼び名、話し言葉なども標準語に統一され、方言が運に消えてしまっています。さらに、へによって方言を使うこと自体にはかたしきを感じ、その消滅にますます車がかかっているようです。こういう現代社会の中で、何とかこの地域の方言を後世に残したいという生物部の願いがあり、また、小林市の市、西諸郡という母校の学校が、鹿児島、熊本両県と境し、さつ井の影響を受けるこの地域が生物にいてその影響を受けているのか、後継本を要する全くないものか、ことを考える中で、南谷忠志(現高師校)・松田忠幸(現福岡東高校)

津曲和典の三教諭指導の下で、九州南部地区の方言調査がはじまりました。初年度は、動物七種、植物四四種を選び、学校内の方言分布状況を地域の古老を相手に、日曜日、夏休みなど生物部員が聞きこみ調査を行ない、「やまね」十号にまとめ、翌二年目は、動物だけ四種を選び、宮崎県内の方言分布状況を知るため、宮崎県中学校理科担当の先生にアンケートを出し、できるだけ古老に聞いてもらうようにして回答を求め、これを中心に「やまね」十一号にまとめました。最終年は、さらに範囲を広げ鹿児島県及び熊本県南部地区の中学校を選び、同様のアンケートで回答を求め、その調査結果を十二号として報告しましたが、その中の例を示しますと、アオタイショウ(昔、ワラ屋根の家では、時に天井にいた)ヒヤク(宮崎県南部)、ヤマタレ(ヤマタヘツマ(鹿児島県南郷市・都城・野尻)、ヤコグイ・ヤコグリ(えびの・熊本県人吉)、ネズミト(宮崎県東臼杵郡・熊本県西部)

九回、四回六回という順でした。高女は七名で前年より一名多く、十名で七名も減りました。オジバン組の奮起を期待したい処で、学生の参加五名、夫婦揃っての参加一組でした。

「やまね」赤字になりませぬ。参加者が増えたこと、篤志を募り、八万円弱集めたことが奇事です。それに、会場側のご協力で約二十六万円節約できたこと、これは、第三回以降に会場を使っていますので、桜萩とよく理解してもらっていること、また、折角好意で張った金屏風に底をつけてしまい、迷惑をかけてしまいました。その費用は百万円を越すことになり、都城市の方が居て、五百万円弱をつけて戴きました。

事務局長だより
長い間、多忙の中を事務局をお願いしていた塩入さんにお引受けしていただいた年を、また第一線でお働いてくださる私にとって仲々大変な事だと思っております。皆様のご協力をよくいただき、感謝しております。五十八年度の会費未納の方は早めに納入下さい。皆様のお申し込みを、住所を委託された方

あけましておめでとうございます

<p>森永貞一郎 (田中二回)</p> <p>〒113 東京都文京区本駒込 六の二一三〇五 電話(〇三)九二一三〇五</p>	<p>小林市長 森祐一郎 (田中十五回)</p> <p>〒886 小林市細野三〇六八 電話(〇九八四)二二四七九二</p>	<p>福崎税務会計事務所 福崎幹一郎 (高九回)</p> <p>〒114 東京都品川区 東五反田五二一八〇一 クレール五反田八〇五 電話(〇三)四四五一〇七七</p>	<p>森山誠一 (田中十五回)</p> <p>〒288 鎌倉市津西二二五二二六 電話(〇四六七)三三二一〇三</p>	<p>福崎 橋口和人 (高一回)</p> <p>〒244 平塚市夕陽ヶ丘七二四 電話(〇四六三)二二二二二五</p>	<p>建業 設備 総合社 株式会社 橋口和人 (高一回)</p> <p>代表取締役 橋口和人 (高一回) 〒190 立川市砂川町三二六二 電話(〇四二五)三二二一九六五 ※桜萩会価格設定</p>	<p>瀬戸山孝一 (田中十一回)</p> <p>〒103 三鷹市下連雀一三二一三 電話(〇四三三)四八七三六五</p>	<p>宮崎県知事 松形祐堯 (田中十回)</p> <p>〒880 宮崎市下北方町横小路 電話(〇九八五)二二二二二〇</p>
--	---	---	--	--	---	---	--

私の駅伝従軍記

第七回九州高校駅伝

田中瑞穂 (高六)

第七回九州高校駅伝競走は、昭和二十九年十二月五日と記録にあるから、もう三十年も過ぎたことである。福岡市の平和台競技場から唐津市に向う糸島郡前原町折返しコースで行われた。この第七回九州大会に、わが小林高校が出場して来た。二度目のことである。福岡市の大学に在る数人の卒業生が、野間優先生に呼ばれて、競走中継地の選手の手話を依頼された。私も第五区の中継地を担当することに。第四区走者の瀬尾選手と第五区走者の温水選手の世話係である。この手記はその時の従軍記である。大会当日は、初冬とはいへ減法寒い日であった。今でもその寒さは、い。第五区の中継地は福岡市の郊外、名勝「生の松原」に近い絶景地の国道にあった。波をかぶるような海岸ぶちである。駅伝の選手達は中継地に配置されると、すぐ戦闘態勢にはいる。中継地の周辺は修羅地帯に似た低い喧嘩が響く。この戦場ともいえる中継地に着くと、私は敵愾心よりも気遣いが先に立ち、他

学年だより

佐藤和子 (高一回)

年に一度は集まりましよう、私共の卒業生から、「三四」と名付けて発足したのが、五十二年でございまして、が実行出来ませんでした。此の頃では、桜祭りの集まりが、それを兼ねまして、と云うのが実状でございまして、丁度、十年程前、皆さんどうしていられたから、と思つて居りました。折、小林の方から、東京在住の同級生を知らされ、それがきっかけで、次々と連絡がとれる様になりました。最初は四人で再会致しました。その時のなつかしさ、嬉しさは忘れられません。その後、桜祭りが出来まして、名簿も作成され、何と同級生が三十名近くも居られるのにびっくり致しました。今年の桜祭りに、男子が橋口、野村、木下、松尾、佐藤、五名、女子は、麻生、川口、大風、川野、黒岡、橋口、恒川(旧姓)七名出席、佐藤さんと黒岡さんは卒業以来の再会、話はずみでした。又、何かありますと、良

校より秀れて強い競技種目を皆無に等しかった。だから一般生徒の私達は対校試合や対外的な競走の勝敗にこだわりがなく、無関心であることになつてきたのだ。この五区に従軍し世話役を引き受けた時、今日のように優勝を期待することさらさらなく、卒業生の母校への義務的な義務的な奉仕と思つたのが本音である。もうそろそろ四区走者が来る頃だとなんか中継点付近に集まりだした時、私と温水は勝ち目のない強敵をさけるような遠慮な気分があり、その群から離れて待っていた。競走は一時間以上を経過したが、勝負の展開はわからなかつた。最初の連絡車が来たのだ。マイクが順位を告げたが、遠くよく聞こえない。近くの誰かが「コバヤシ」という、コバヤシって、俺達の小林のことだろうか、二人共まさかと思うから、ポカーンとして聞いた。役員が復唱して叫んだ、「二位、小林ノトップは小林ノ二位は小倉南」と、わが小林高がトップだといふ温水選手が私の顔をみた。瞬間、全身が震えた。寒さじゃない。突然暗闇で百万光のライトを浴びたように、アッと目まがもたつてしまったのだ。大変だ、トップなのだ。事情が一変したのだ。今までの態度を覆すように情熱がど

つとたかぶる。しかし何たること、勝と意識した途端に、私は痴呆に化し、動転して狼狽うろたへるばかりである。それに比べ、温水選手は落ち着いたもどかしく、彼はゆっくりとトランを脱ぎ、ジャンパーを脱いで私に渡す。セッケン「小林」が鮮やかに光る。「大丈夫か」と温水選手を激励する。しかし病人が医者に云うように、さまじならぬ。「田中さん、大丈夫だよ」と逆に慰められ仕舞った。先導車の白バイが見えてきた。温水選手は悠々と中継地の白い線上に立つ。なにか助太刀したいと焦燥にかられるが、情熱は空まわりして体が金縛りだ。そのくせ、温水選手と一緒に走りたいたい衝動がおきるから不思議である。路上の観衆が割れた。第四区の走者が白バイの影から現れた。来た。セッケンの表示は「小林」だ。瀬尾だ。九州の精鋭共を蹴散らしてやって来た。全国優勝の筑紫野高をうちやうやう大宮高、五名高の強豪をなぎ倒してやって来た。さあ、みろ小林万才ノ何が二線級だ。超一級の戦力じゃないか。今までの義理的な母校愛は一瞬にして純化する。熱血が沸騰する。昂奮の極が湧き溢れ、涙が流れた。数分前の劣等感や優越感が早変わりだ。主役は小林高だ。四区瀬尾と五区温水だ。(そして俺だ)瀬尾がスタートをかけて中継点とび込む。タスキが渡る。温水がとび出す。

集まりますメンバーは、本山、山本、フジ、白宮、三浦、竹元、小野崎、桑原さんが居られます。集まりますと、すっかり女学生の気持ちに戻り、時間のたつのも忘れてしまいます。比の頃、お孫さんの話が出るようになりまして、過ぎた歳月を改めて思い知らされ、ます。ちなみに、おばあさまは、麻生、白宮、大島お嬢の若々しい方許り、それ、第一線で活躍中であらうし、私共は、勤勞奉仕の精神が今だに抜けず、仕事一筋の人、家事と仕事両立でがんばっている人が多く、あ頃の影を懐かしく思い、つくづく思つて居ります。今年、二人の方に会い出来ました。次の桜祭りは、誰方にお会い出来るか、とても楽しみにございまして。二十年、三十年ぶりに会いまして、すぐ心の底から打ち解けられるのは、やっぱり、同意で共通の思い出があるからなのですね。このつながりを大切にしていきたいと思ひます。同時に、多忙の中、いつもお骨折りを頂く、橋口、麻生さんに同級生一同、心から感謝致して居ります。

「39会」はその名前からお判りいただける通り昭和39年の小林高校卒業生同窓会の名称です。私共が通した同窓会代は、丁度私達が卒業した年に東京オリンピックが開かれたり、又池田内閣以来の高度成長経済が漸く軌道に乗る頃で、言わば戦後においては、「坂の上の雲」の時代であつたように思われます。又、私達の大部分が昭和20年生れであり、その後「団塊の世代」の直前に小・中・高校時代を過ごしたために、高校の時全員がのんびりと学生生活を楽しみ、いわゆる「受験地獄」の波も比較的少ないの少なかつた時代ではなかつたか、と考えられます。さて「39会」の対象は39年卒業生に、普通科・商業科・農業科・家庭科が居る訳ですが、普通科が二百名弱で、学年で約四百名、地元の福岡に残って活躍している友人の他、外国ではアメリカ・イギリス・ブラジル等、そして全国で社会の中堅として、又家庭の主婦等としてがんばっているのが現状です。なお「39会」のうち、「本家」は小林にあり、三年に一度旧師・旧友相

「きばれ!温水」小林がトップに来て、トップで離れて走り去る。私は瀬尾に馳けよ、タオルを渡す。声をかける「やめたね」勝者をたたえる言葉はこれしかない。まさに破顔一笑、鬨声を挙げた気分であつた。私の従軍記はここで「完」になる。駅伝であるから、私の出番であつた第五区中継地の戦闘だけしか記憶にないからだ。中丸三郎氏の記録に依ると、第七回九州大会は、「小林高、三位に躍進」とある。結果は負けであつた。私にとつては「優勝」の栄誉をもつた感動があつた。私の目前を走り抜けた小林は勝者であつたからだ。また、この九州大会が小林高の全国制覇への、初優勝への確かな道程であつたからだ。

「きばれ!温水」小林がトップに来て、トップで離れて走り去る。私は瀬尾に馳けよ、タオルを渡す。声をかける「やめたね」勝者をたたえる言葉はこれしかない。まさに破顔一笑、鬨声を挙げた気分であつた。私の従軍記はここで「完」になる。駅伝であるから、私の出番であつた第五区中継地の戦闘だけしか記憶にないからだ。中丸三郎氏の記録に依ると、第七回九州大会は、「小林高、三位に躍進」とある。結果は負けであつた。私にとつては「優勝」の栄誉をもつた感動があつた。私の目前を走り抜けた小林は勝者であつたからだ。また、この九州大会が小林高の全国制覇への、初優勝への確かな道程であつたからだ。

集い同窓会を開催したり名簿の発行を行つたりしています。関東地区39会は云わば「分家」に當る訳です。「分家」の「39会」の特色は①男性の場合、諸君が大学の先生、自営業の他、勤務先の企業等がパライティに富んでおられること。女性も銀座のママさんや小学校の先生が居る等、いずれにしても活躍の場が多岐に及んで居ること。②皆がザツザツと、高校時代の純朴さを多少とも失わずに居り、従つて比較的まとまりがあること。③一回は必ず同窓会を開くほか、年末になると誰からもなく忘年会の音がかり年忘れの会が催されます。この他に、家族一緒に高尾山とか近隣の山にハイキングに行つたり、同好の者が集りゴルフコンペを行つたりもあつます。関東地区39会は現在40名余りから成つており、従つて同期のつながりが、縁あり関東地区で繋がりを得ていることになり、今後は、それらがこの事を縁と考へ、今後「本家」との連携を保ちながら益々の横のつながりを深めていくことを願ひつつ、全員が日々それぞれで元気に活躍しております。

原稿募集しております 投稿歓迎

本年度行事予定
三月上旬—ゴルフコンペ (森永杯争奪)
五月上旬—ソフトボール大会
六月九日—待望の桜祭総会

「きばれ!温水」小林がトップに来て、トップで離れて走り去る。私は瀬尾に馳けよ、タオルを渡す。声をかける「やめたね」勝者をたたえる言葉はこれしかない。まさに破顔一笑、鬨声を挙げた気分であつた。私の従軍記はここで「完」になる。駅伝であるから、私の出番であつた第五区中継地の戦闘だけしか記憶にないからだ。中丸三郎氏の記録に依ると、第七回九州大会は、「小林高、三位に躍進」とある。結果は負けであつた。私にとつては「優勝」の栄誉をもつた感動があつた。私の目前を走り抜けた小林は勝者であつたからだ。また、この九州大会が小林高の全国制覇への、初優勝への確かな道程であつたからだ。

チホリを訪ねて

石渡浩子 (田高女三回)

大きな歓声、河のふちをうめつくす子供達の群、旗を持った花のレイを持ったり、民族衣装も美しく何百人いるだろうか、瞬間事が起つたのかびびりして居ると、私達のジプシー(ジプシーを改造した十人位乗れる車)に駆けよつてくる。首にレイを掛けてくれる、皆んなで「せいで歓迎の歌をうたつてくれる。私は何だか目の奥がジンジンと涙ぐんで居ました。皆感激して居る。私が入会しているチホリ国際親善の会の現地訪問に今年思い切つて参加した。出発間際まで仕事に追われて三時間位しか寝ないで飛行機に乗った。フィリピンのミンダナオ島の山の中にあるチホリへ向う所だった。電話もなしの所なので、炎天の中で何時間も前から待って居たらしい。生花のレイも持たせて居たらしい。やがてついたゲストハウスは仲々しっかりした建物で屋根こそ椰子の葉でふいて居るが、柱等ふとく立派なものである。ガラス等ないので窓は漆をこまかくして、目をすくそいではめてあり障子の明るさである。民家といへば全部竹で出来ており、床は高く下で鶏等を飼つている家もある。家の中はほとんど何もない。石を三つ位おいたかまどがあるだけで洋服が二、三枚かいてある。ふんとは夫婦の数が二人が一枚あるだけで、子供等は服を着たままで床にころがって寝るらしい。今年、雨が六ヶ月も全く降らないで作物が枯れて一日に一度の食事も思はず様に



と云うと彼等は「イヌ」と云う、その内フィリピンの山の中で日本語が通じる日が来るかもしれない。小さい子供でもよく働く、学校へ行く前に山へ行って竹の子や野草を取り、たき木を拾つて来る。近くの中で私達の歓迎会を開いてくれた。歌やおどりや楽器の演奏が次々にランパの下で行なわれ、村中の人も見に来て居る。私達にも何かして下さいとの事で皆に何か出来るかと聞いたら、炭坑節なら出来るよと云うので十人位で大きな声で歌いながらおどり、私も日本にいたらとても出来ないうちで歌いながらおどりなう。校長先生が日本のおどりは体操の様ですと云うのでおどらした。電気がガスも水道もなく、彼等は本当にまずい、けれども私達の失つたものを持つている。日々のんびり生きている。私も年を取つたらこんな所でぬんびり暮らして見たい気もする、十万円もあればお手紙を二、三回書いて気楽に暮らせるよと云う。マニラ滞在を入れて九日間にまた忙しい日本に帰つた。明るい電気が下で文明の有難さを感じている。機会があれば行きたいと思つている。学校へ行く子供がまた沢山のいるのでどなたか里親になつて下さいませんか、毎月二千円送つて下さいませんか、二年契約ですすらいやなら三年でやめても良い事になって居ます。私が東京の代表になって居ますのでよろしくお願ひいたします。全国で千人位居ります。

集い同窓会を開催したり名簿の発行を行つたりしています。関東地区39会は云わば「分家」に當る訳です。「分家」の「39会」の特色は①男性の場合、諸君が大学の先生、自営業の他、勤務先の企業等がパライティに富んでおられること。女性も銀座のママさんや小学校の先生が居る等、いずれにしても活躍の場が多岐に及んで居ること。②皆がザツザツと、高校時代の純朴さを多少とも失わずに居り、従つて比較的まとまりがあること。③一回は必ず同窓会を開くほか、年末になると誰からもなく忘年会の音がかり年忘れの会が催されます。この他に、家族一緒に高尾山とか近隣の山にハイキングに行つたり、同好の者が集りゴルフコンペを行つたりもあつます。関東地区39会は現在40名余りから成つており、従つて同期のつながりが、縁あり関東地区で繋がりを得ていることになり、今後は、それらがこの事を縁と考へ、今後「本家」との連携を保ちながら益々の横のつながりを深めていくことを願ひつつ、全員が日々それぞれで元気に活躍しております。

集い同窓会を開催したり名簿の発行を行つたりしています。関東地区39会は云わば「分家」に當る訳です。「分家」の「39会」の特色は①男性の場合、諸君が大学の先生、自営業の他、勤務先の企業等がパライティに富んでおられること。女性も銀座のママさんや小学校の先生が居る等、いずれにしても活躍の場が多岐に及んで居ること。②皆がザツザツと、高校時代の純朴さを多少とも失わずに居り、従つて比較的まとまりがあること。③一回は必ず同窓会を開くほか、年末になると誰からもなく忘年会の音がかり年忘れの会が催されます。この他に、家族一緒に高尾山とか近隣の山にハイキングに行つたり、同好の者が集りゴルフコンペを行つたりもあつます。関東地区39会は現在40名余りから成つており、従つて同期のつながりが、縁あり関東地区で繋がりを得ていることになり、今後は、それらがこの事を縁と考へ、今後「本家」との連携を保ちながら益々の横のつながりを深めていくことを願ひつつ、全員が日々それぞれで元気に活躍しております。

編集後記
新年の明けを迎えるにあたり、桜祭総会も年を重ねる毎に会員数増加と共に内容も充実して来まして、会員相互の親睦、情報交換の役割を果す一助としての会報の使命を感じ、編集室一同決意を新たにしております。今号より新しい企画としてクラス会便りを連載することにしました。各年次毎の原稿をお寄せ下さい。又、会報に関するアイデア、御意見等、お待ちしております。最後に皆様の御健康、御健康をお祈り申し上げます。
編集担当 白井 忠功(高一回)
水崎秀一郎(高四回)
石渡浩子(田高女三回)

あけましておめでとうございませす

ステンレスサッシ製販
大洋金属工業株式会社
代表取締役 西田 忠司 (高五回)
〒104 東京都中央区東船場五丁目一七
電話(〇三) 七四五一 一六四一

オランダの真鍮を専売店
テラーナカムラ
中村 邦 弥 (高一回)
参議院指定
〒104 東京都台東区谷中三丁目一五
電話(〇三) 八二一六 〇九三

総合インテリア
株式会社 上 武
本社 浦和市白銀七丁目二
電話(〇四八) 五二一六 五六八
有坂久美子(旧姓後藤)
(高九回)

●小さな小さな印刷屋さんです
桜祭の方には仲間価格で
陽光印刷
石渡 浩子
〒104 東京都中央区八丁堀
電話(〇三) 五五三三 九七〇七

スタンドバー
はまゆう
河野 幸子
〒104 大阪府豊能郡豊能町ときわ台
電話(〇七七) 三八一五 五二二

大阪へお出の折は是非
お立ち下さい
山口 静 美
店長 山口 静 美 (高四回)
〒501 大阪府豊能郡豊能町ときわ台
電話(〇七七) 三八一五 五二二

塗装工事一般
防錆剤
大栄工業株式会社
代表取締役 佐瀬 光雄
専務取締役 吉鶴 光雄 (高四回)
〒246 横浜市瀬谷区久和町三三六二二
電話(〇四五) 三六三三 三六四三

山下 光正
代表取締役 山下 光正 (高五回)
〒104 東京都中央区八重洲二丁目一六
電話(〇三) 二八一三 三二七八

代表取締役 山下 光正 (高五回)
〒104 東京都中央区八重洲二丁目一六
電話(〇三) 二八一三 三二七八

代表取締役 山下 光正 (高五回)
〒104 東京都中央区八重洲二丁目一六
電話(〇三) 二八一三 三二七八